

【表紙】	
【提出書類】	有価証券届出書の訂正届出書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	平成25年5月22日提出
【発行者名】	アムンディ・ジャパン株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役 ニコラ・ソヴァージュ
【本店の所在の場所】	東京都千代田区内幸町一丁目2番2号
【事務連絡者氏名】	横田 陽子
【電話番号】	03-3593-5928
【届出の対象とした募集（売出）内国投資信託受益証券に係るファンドの名称】	アムンディ・中東株式ファンド
【届出の対象とした募集（売出）内国投資信託受益証券の金額】	継続募集額 上限 3,000億円
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

## 1. 【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

平成24年9月11日付にて提出いたしました有価証券届出書（平成25年3月8日付をもって提出した有価証券届出書の訂正届出書により訂正済み。以下「原届出書」といいます。）の記載事項の一部に訂正もしくは追加を行うため、本訂正届出書を提出するものであります。

## 2. 【訂正事項】

原届出書の内容は本訂正届出書の内容に変更および更新されます。

下線部分は、訂正もしくは追加個所を示します。

## 第二部【ファンド情報】

### 第1【ファンドの状況】

#### 1【ファンドの性格】

##### （1）【ファンドの目的及び基本的性格】

ファンドの特色

<更新・訂正後>

1. ファンドへの投資を通じて<sup>1</sup>、主として中東のGCC諸国（湾岸協力会議加盟国）で事業を展開する企業<sup>2</sup>の株式等<sup>3</sup>に実質的に投資します。なお、ベンチマークはありません。

1：主としてルクセンブルク籍の外国投資法人「オーシャン・ファンド・エクイティーズ GCC オポチュニティーズ」と「Amundi Funds キャッシュ・USD」<sup>3</sup>の投資証券に投資します。GCC諸国の株式等への実質的な投資は「オーシャン・ファンド・エクイティーズ GCC オポチュニティーズ」を通じて行います。

2：サウジアラビア、アラブ首長国連邦（UAE）、クウェート、オマーン、カタール、バーレーンの企業または同地域において主な事業を展開する企業の株式等（これに準じるワラントや債券等を含みます）を実質的な投資対象とします。実質的な投資対象国はこれらに限定するものではなく変更または増減する場合があります。

3：2012年12月3日付で「Amundi Funds マネー・マーケット・USD」は名称を「Amundi Funds キャッシュ・USD」に変更いたしました。運用方針等に変更はございません。

### GCCとは

GCCとはペルシャ湾岸の6ヵ国を中心に形成される湾岸協力会議（正式名称はThe Cooperation Council for the Arab States of the Gulf。通称Gulf Cooperation Councilの略称がGCC。）です。

2. 「オーシャン・ファンド・エクイティーズ GCC オポチュニティーズ」の運用は、GCC諸国の株式運用に精通したアムンディが行います。

「オーシャン・ファンド・エクイティーズ GCC オポチュニティーズ」の運用者は、2013年5月22日にGLGパートナーズインターナショナルリミテッド（GLG Partners International Limited）からアムンディに変更となっております。アムンディは、トップダウンとボトムアップを組み合わせた運用プロセスで運用を行います。詳しくは、「ファンドの運用プロセス」をご覧ください。運用方針等に変更はございません。なお、「Amundi Funds キャッシュ・USD」の運用についても、アムンディが行います。

3. 原則として、実質的に組入れる外貨建資産の為替ヘッジは行いません。

クウェート以外のGCC諸国は、自国通貨を米ドルに連動させる「米ドルペッグ制」の通貨政策をとっています。このため、クウェート以外のGCC諸国の現地通貨は米ドルの変動に連動しているため、円で投資されるお客様の為替リスクは米ドルの円に対する変動とほぼ同じに

なります。

しかし、GCC諸国の一部の国ではインフレを抑制するために通貨を切り上げようとする動きも出ており、将来的に米ドルペッグ制から離脱する可能性もあります。この場合、米ドルとの連動は低くなりますので、為替リスクは現地通貨と円の変動が重要となります。

クウェートは、2007年5月に「米ドルペッグ制」を廃止し、自国通貨を複数の通貨で構成される通貨バスケットに連動させる「バスケットペッグ制」の通貨政策に移行しました。

4. 「アムンディ・中東株式ファンド」は、「アムンディ・中東株式 マネープール・ファンド」との間でスイッチングが可能です。

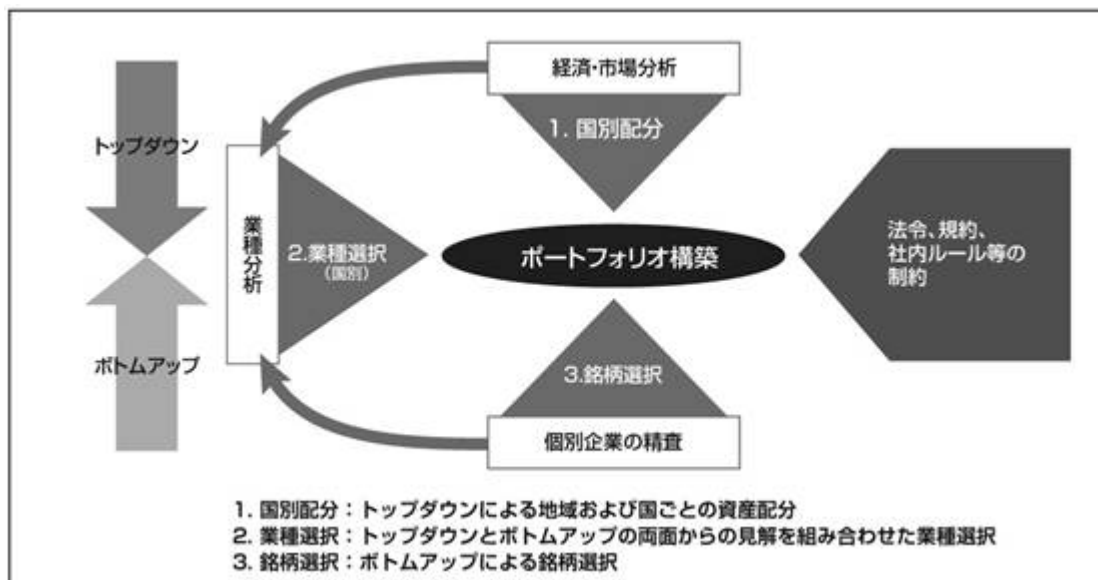
「アムンディ・中東株式ファンド」または「アムンディ・中東株式 マネープール・ファンド」を換金した場合の手取金をもって、その換金の申込受付日に、もう一方のファンドの購入のお申込みを行うことをいいます。

スイッチングの際には、購入時および換金時と同様に、費用・税金がかかりますのでご注意ください。

## ファンドの運用プロセス

### 中東株式

GARPスタイル型アクティブ運用を行います。トップダウンとボトムアップの要素を均等に組み合わせた運用アプローチを特徴としています。GARP（Growth at a Reasonable Price）とは銘柄選択を行う際に利用する手法の一つで、成長性に加え株価の割安性を示す指標も重視した運用です。



資金動向および市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

## 2【投資方針】

### （2）【投資対象】

#### < 追加的記載事項 >

< 訂正前 >

#### 参考情報

### アムンディ・中東株式が主要投資対象とする投資信託証券の概要

ファンド名	オーシャン・ファンド・エクイティーズ GCC オポチュニティーズ (Ocean Fund Equities GCC Opportunities)
-------	-----------------------------------------------------------------------------

(略)

運用会社	GLG パートナーズ インターナショナル リミテッド (GLG Partners International Limited)
------	-----------------------------------------------------------------

(略)

&lt;訂正後&gt;

参考情報
------

**アムンディ・中東株式が主要投資対象とする投資信託証券の概要**

ファンド名	オーシャン・ファンド・エクイティーズ G C C オポチュニティーズ (Ocean Fund Equities GCC Opportunities)
-------	-------------------------------------------------------------------------------

(略)

運用会社	アムンディ (Amundi)
------	----------------

(略)